



としよしつ がつごう 図書室だより 3月号

令和5年3月 三芳小学校 図書室

毎月23日は『よみ愛・読書の日』

<おうちの方へ お子様とご一緒にお読みください。>

卒業証書授与式・修了式まであとわずかです。今年度は図書室にも少し日常が戻ってきました。図書室での読書や休み時間の貸出しも、制限はありますができるようになりました。

6年生の皆さんはいよいよ卒業ですね。三芳中学校の図書室には小学校とはちがった本がたくさんあります。お気に入りの一冊がきっと見つかりますよ。

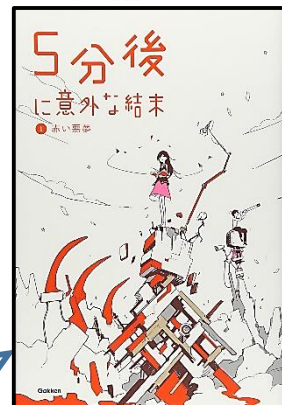
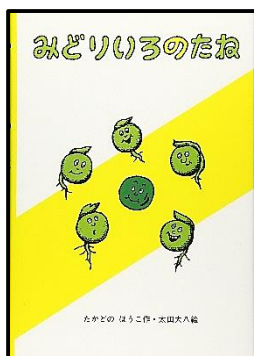
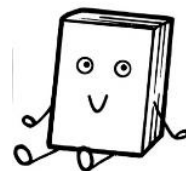
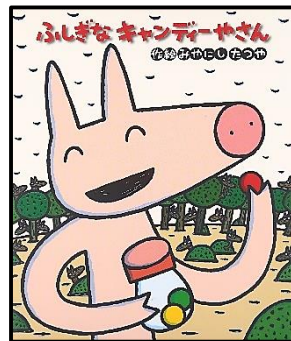
1年生から5年生の皆さんもひとつ学年が上がります。ちょっと長めの本にも挑戦してみてください。1年間、ご家庭でも子供たちの読書の取り組みにご協力いただき有難うございました。

☆今年度の貸出し数の報告です。

3月までの貸出し数は、学校全体で 29,246冊(3月1日現在)でした。

一番たくさん借りられた本は

- 1年生 絵本「くろくとなぞのおばけ」 なかやみわ/さく・え 童心社
- 2年生 絵本「たればんだー今日もよくたれています。」 末政ひかる/文・絵 小学館
- 3年生 絵本「ふしぎなキャンディーやさん」 みやにしたつや/作 金の星社
- 4年生 913タ「みどりいろのたね」 たかどのほうこ/作 太田大八/絵 福音館書店
- 5年生 913ハ「くりいむパン」 濱野京子/作 黒須高嶺/絵 くもん出版
- 6年生 913「5分後に意外な結末」 学研教育出版



この本は、今までに
272回も借りられて
いるよ~!



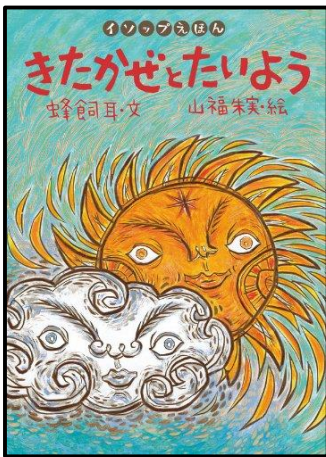
3月のお話朝会で校長先生が話をされた「きたかぜとたいよう」を、読んだことがありますか？「うさぎとかめ」や「アリとキリギリス」は聞いたことがあるでしょう。

日本の昔話だと思っている人も多いと思いますが、じつはギリシャのイソップ寓話といって、2千年以上前から語られてきたお話です。イソップのお話の中には人だけでなく身近な動物たちがたくさん出てきます。笑えるお話や考えさせられるお話、時には大変残念な結果になってしまうお話もあります。日本では、江戸時代に外国から伝えられて、『伊曾保物語』と呼ばれました。明治時代になると『通俗伊蘇普物語』という本が出版され、教科書にもものせられていたそうです。

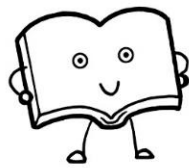
たくさんのお本が出版されているのでぜひ読んでみてください。



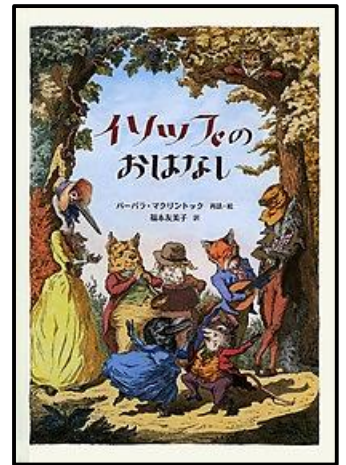
えほん「きたかぜとたいよう」



イソップ／原作 蜂飼耳／文
山福朱実／絵 岩崎書店



図書室には他の話もたくさんありますよ。



えほん「イソップのおはなし」

イソップ／原作 バーバラ・マクリントック／再話・絵
福本友美子／訳 いわなみしよてん 岩波書店



ベルマーク

お家の方が集めたベルマークが、本になって図書室に届きました。図書室にある歴史の本は30年以上前に出版された本が多く、新しい本が必要だと思っていたので本当にうれしいプレゼントです。

新年度から貸出しです。お楽しみに!!

210 日本の歴史



歴史まるわかり図鑑 全15巻

KADOKAWA



いっぱい書けたね「読書通帳」

今年度、目標を達成した人は、のべ161名でした。(3月3日現在)なかには6万ページ

読んだ人もいました!!

今年度の通帳はご家庭にお返しします。記録は自分の読書の歴史を振り返るためにつけるものです。春休みに読んだ本も記録してみてください。